

会 議 録

会議の名称	平成22年度第3回行田市地域公共交通会議
開催日時	平成22年9月21日(火) 開会：午後2時・閉会：午後3時15分
開催場所	市役所305会議室
出席者(委員)氏名	羽鳥副市長、伊藤克俊委員(代理出席：清水氏)、鈴木貴大委員、長島豊委員、新井友一委員、新井忠晴委員、鶴岡洋委員、高原昭委員、平野克行委員、内田愛三郎委員、久保田和市委員、池田豊委員、橋井公治委員、小高巖委員(代理出席：久世氏)、金子浩之委員、鎌田裕建設部長、田尻要委員、高橋秀雄総合政策部長、小川栄一市民生活部長、宮崎薫環境経済部長、岡田真彦健康福祉部長
欠席者(委員)氏名	小池武男委員
事務局	生活課：夏目課長、菅原主幹、吉田主査
会議内容	司会 夏目生活課長 議事 (1) 行田市都市計画道路(南大通り線)全線開通に伴う市内循環バス運行に係るアンケート調査結果について (2) 行田市市内循環バスの運行計画について (3) その他

<p>会議資料</p>	<p>(資料名・概要等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行田市地域公共交通会議委員名簿 ○平成22年度第3回行田市地域公共交通会議 座席表 ○市内循環バスの関するアンケート調査結果（南大通り線沿線自治会住民分） ○市内循環バスの関するアンケート調査結果（富士見工業団地協議会分） ○行田市民意識調査報告書 一部抜粋（平成21年9月） ○行田市都市計画道路（南大通り線）新運行路線バス停留所（素案） ○行田市都市計画道路（南大通り線）新運行路線 時刻表（素案） ○平成23年度以降の市内循環バスの運行計画について ○西循環コース2分割化（通勤通学用コース） ○西循環コース2分割化（観光用コース）
<p>その他必要事項</p>	<p>傍聴者1名</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 議 長	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事に入らせていただく。 ・ 議事（１）「行田市都市計画道路（南大通り線）全線開通に伴う市内循環バス運行に係るアンケート調査結果について」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p style="margin-left: 40px;">＜資料 1－1 「市内循環バスの関するアンケート調査結果（南大通り線沿線自治会住民分）」</p> <p style="margin-left: 40px;">資料 1－2 「市内循環バスの関するアンケート調査結果（富士見工業団地協議会分）」</p> <p style="margin-left: 40px;">資料 1－3 「行田市民意識調査報告書 一部抜粋（平成 21 年 9 月）」</p>
議 長	<p style="margin-left: 40px;">に基づき説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より説明があったが、アンケート結果について質問等があればお願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート回収率が自治会を通して回収したものは 63.2%、富士見工業団地協議会の電子メール等での回答が 59.5%となっている。自治会を通しての回収率が高く、今回のアンケート調査で自治会の人達が苦勞したのを理解して欲しい。また、自治会住民へのアンケート調査の 4 ページでも、利用するという意向の回答が 62%ある。これは早急にバスを通してほしいという住民の意思の現われと理解していただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ このアンケート結果を基にどのくらいの利用客があるかという推測はしたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 踏み込んだ利用者数の推測は行っていない。実証運行の中で検証していくということで理解いただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ こういうアンケート結果の数値から、利用者数を見込むことが

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<p>可能かを専門家である田尻委員に伺いたい。</p>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に走らせてみて分かることもある。また、試行期間中にダイヤを動かすことによって、利用者が変わることもあるため、アンケート結果からは直接利用者数を見込むのは難しい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験となると、事前にある程度一定の評価数値を設けるべきではないか。アンケート結果から、1か月に3, 200人、1日あたり105人程度と勝手に利用者数を推測してみた。こういった数値をある程度おさえておき、数値を超えたら本格運行、満たなかったら中止という判断基準を持った上での実証実験であれば、税金投入していると言われても市民が納得できるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・便数、時間帯等の問題はあるが、一定の評価数値として西循環の1日あたりの利用者数110人が目安になるのではないかと考える。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・間10のバス利用時の待ち時間については、30分以内という回答が98%いる。その一方で、時刻表案では日中の本数が1時間に1本となっている。それぞれ関連性があると思うのだが、そういうことも考慮し総合的に考えていかななくてはならないのではないか。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・採算面という話があり、また、税金を投入するという視点もある。市の交通政策全体の問題に関わってくることであり、総合政策部長である高橋委員より意見があればお願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在JR行田駅を通るバス路線として西循環があるが、行田駅行きとしてのバスはないのが現状である。街うちの谷間に南大通り線が通り、そのバス路線を街の活性化の起爆剤にしたいと考えている。町の発展を考える場合、JR行田駅抜きでは考えられない。人口減少社会の中で、鴻巣市までは10年前と比べて人口が減っていない。行田より北が減っており、その中でも

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員 議 長 委 員 議 長 委 員 委 員	<p>行田が一番減っている。行田は市外への人口流出が多く、特に鴻巣市、熊谷市への転出が多い。これ以上人口流出をさせない、人口を維持していかなければ行田の活力は保てないを考える。そういう点からも、行田駅を中心とする通勤通学者を増やし、行田駅前の賑わいを街うちまで浸透させるような政策を考えなければならない。起爆剤がなければ政策は成り立たず、路線バスも手段の1つである。1月からバスを導入するのも、新しい年に新しい行田を見せていくといった思いがあるからである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前は経済効果の話ばかりだったが、今回のように資料も含め将来を展望しての説明をしていただければよかったのだが。 ・ 南大通り線にバスを通すことについて、専門的な立場からの考えを田尻委員からお願いしたい。 ・ 観光地的にどうかだが、せっかく市の名前と一致している駅があるのだから、行田駅を育てていくべきと考える。交通にはアクセスとイグレスがあり、行田市の人が駅に向かうのがアクセス、外から来る人がイグレス。アクセスは行田駅に行くのでも吹上駅に行くのでも便利である。だが、市外から来る人にアンケートを取ると、一樣に行田市は行田駅じゃないのかといわれる。長期的に見ると市外から来る人に対して、JR行田駅を中心としたイグレス化が必要と考える。行田に遊びに来るときは行田駅で降りてください、行田駅まで行くと足がある、というような分かりやすい交通体系を今のうちから確立しておくべきである。 ・ 専門家の意見をいただいたが、何かあるか。 ・ 先ほどの1日あたりの利用者数を3,200人と推計したことについて、もう少し詳しく聞きたい。
委 員	<p>< 委員より、1日あたりの利用者数の推計方法についての説明あり ></p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行田市にとって非常に参考になる意見をいただいた。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ さきほど、10年前に比べて人口が減少しているという話があったが、10年前に比べて行田市の人口はどのくらい減っているのか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間約600人ずつ減っている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1%近く減っているということか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうなる。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が1番多いときは平成になってからで、約89,000人だった。その後減少し、南河原との合併で4,400人が加わり元の人口に戻った。そして合併後、また、減少している。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内需が減ってきているということだ。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県は若干増えているが行田は減ってきている。鴻巣市、熊谷市への転出が約4割いる。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化が影響しているのでは。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 影響している。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行田は面積が広いが行田駅西口から荒川までの距離がない。通常はその間が住宅地として発展する可能性があるが、行田はその西口の間伸び口がない。東も伸び口を田んぼが塞いでいる。行田には市が手を加えなくてもいい、伸びる場所がないのも原因である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど南大通り線を起爆剤にし、中心市街地も含めて街の活性化に繋げていきたいという話があったが、そのとおりだと思う。現時点では具体策が出ていないと思うが、一例として南大通り線の路線バスを通じたことにより商業施設ではこういう施策、住居系ではこうしたい、という考えはあるのか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、第五次行田市総合振興計画を作っており、その後に都市計画マスタープランを作り直すので、その中で示していかななくてはならないと考えている。

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどイグレスという話があったが、鴻巣駅はアーバンが停まり次に停まるのが熊谷駅である。行田駅にもアーバンが停まると違ってくるのではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・アーバンについては、市長も気にしているところであり、J R 東日本の大塚会長の所にも面会に直接出向き、アーバンあるいは通勤快速を停めて欲しい旨の要望活動を行っている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・J R 行田駅と吹上駅の乗降客数を知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年度の各駅の乗車人員について、J R 東日本のホームページに公表されている数値があり、いずれも1日平均で、行田駅6,796人、吹上駅9,854人、鴻巣駅20,014人、北鴻巣駅7,847人、熊谷駅31,010人となっている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・南大通り線の路線は通勤、通学目的に重点を置いているということだったと思う。今回のアンケート1ページの年代を見ると、通勤、通学と数字の整合性がないように思うのだが。また、4ページの利用目的では1番に買い物、次いで通院、公共施設の利用、そして4番目に通勤通学となっている。買い物は市外あるいは県外、通院も市外が多いのではないかと思う。時刻表の案を見ると通勤通学に合わせて6時台からとなっているが、買い物するのに6時、7時台のバスを利用して出かける人はいないと思う。通勤通学が4番目であり、整合性が薄くなってきた気がする。市外あるいは県外の買い物に行くためにバスの利用と理解してよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・利用目的は買い物が一番だが、沿線に最近商業施設ができ、そこへの買い物も期待できるという意見かと思う。電車に乗って買い物に行く人はそんなに多くはないと思うが、普段行く商業施設近くに停留所があればそこを利用して、買い物に行きたいという結果の現われと推測している。通院についても同様で、

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<p>沿線には行田病院があり、そこへの通院が便利になるといった期待値が入っているものと思われる。また、通勤通学が少ないのではないかということだが、利便性のよいバスが現状ないためと思われる。JR行田駅に行く人は自転車、あるいは車で行って駐車場に停めている人がほとんどだと思う。そういった人達について、バスが通れば利用が見込めると考えている。それ以外の人については現在路線バスを利用して吹上駅に出る人が多いと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートから60代、50代は買い物等の生活に必要なことで使っていると感じた。須加の方でも買い物で一日おきに循環バスを利用する人がいる。ガラガラのバスを見てもったいない気もするが、バスがなくなったらその人は買い物にも行けなくなる。高齢者とか、そういう人を守るのも循環バスの役目ではないのかと思う。買い物、通院といった住民の生活に関わる部分は守っていただきたい。また、アンケートの中で若い人が少ないのが気になる。若い人が入ってくればJR利用ももっと多く見込めるのでは。市長が快速を行田駅に停めてもらえるように交渉しているということなので、ぜひとも行田市の表玄関として1人でも多くの人をJR行田駅へ運んでいただきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（1）については、以上とする。 ・続いて、議事（2）「行田市市内循環バスの運行計画について」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><資料2-1「行田市都市計画道路（南大通り線）新運行路線バス停留所（素案）」</p> <p>資料2-2「行田市都市計画道路（南大通り線）新運行路線時刻表（素案）」</p> <p>資料3-1「平成23年度以降の市内循環バスの運行計画について」</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>資料 3 - 2 「西循環コース 2 分割化（通勤通学用コース）」 資料 3 - 3 「西循環コース 2 分割化（観光用コース）」 に基づき説明＞</p>
<p>議 長 委 員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より説明があったが、質問等あれば願います ・既存路線に対する影響はどれくらいと考えているか。 ・前日も 2 分割化の資料を提示した際に、現状の路線に対する影響について推測しているのかと質問があったが、推測だが、西循環の通勤通学用コースについては、現状路線を使っている関係もあり影響はそれほどないと考えている。
<p>委 員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今より通勤、通学に合わせて本数増やせば、影響があると思うのだが。 ・実証運行の中で影響については見ていきたいと考えている。
<p>議 長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実線部分で今の路線バスと競合しているのはどこの部分か。 <p><資料 3 - 2 で説明></p>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの問 4 でバスを利用するが 20.8%、問 5 の利用するバスは何かでは朝日が 73.6%、2 割の人の 73.6% だから、15% くらいは影響が出てくると考えてもいいのではないか。
<p>議 長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の便数は業者が決まってからとなるのか。 ・通勤通学用コースの運行時間については、南大通り線と近いような運行時間になるかと思う。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケートを取った地域は昭和タクシーの地域で、JR 行田近くがみなとタクシーの地域である。通院通学でタクシーを使う人は皆無に等しい。昼間の需要がタクシーを支えている部分が大きく、この運行はタクシー事業者にとっては影響が大きいということは理解いただきたい。これ以上利用が減れば、台数を減らすあるいは撤退せざるを得ない、となると、沿線住民は交通利便性がよくなっても、沿線住民以外は不便になる。

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長	<p>そういうことも含めて検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望として聞き、対応できるものは対応するようにお願いします。 ・他によいか。 ・今回の議事については一定の方向性を出したいと申し上げた。色々な意見要望については、後々の課題とさせていただき、了解いただけるという形で進めてよいか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・よい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（3）について、お願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス、既存の協議会バス、既存のバス、タクシーの公共交通機関の検証をしていただきたい。都市計画の中で、公共交通をどうすればよいか考えてもらいたい。 <p style="text-align: center;">＜バス協会のチラシについて説明＞</p>
議 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはないか。 ・特にない。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で議事を終了させていただく。 ・以上で議長の職を解かせていただき、事務局に司会をお願いします。
司 会	<p>4 閉会</p>